

とよなか デジタル・ガバメント戦略2.0

2023年度(令和5年度) 取組み状況

令和6年(2024年)6月
豊中市

とよなかデジタル・ガバメント戦略2.0（取組み状況）

戦略の推進ビジョン・取組み全体像

「市民の実感・共感を伴うデジタル・ガバメント2.0」の推進

誰もがデジタルの恩恵を享受し、暮らしやすさを実感・共感できる取組みを進めます。

KGI：デジタルサービスに対する満足度向上（定期的にアンケート実施予定）

■ 3つの取組みの柱、3つの視点

市民の実感・共感を得られるよう、「3つの取組みの柱＝まち・サービス・行政のデジタル活用」、「3つの視点【利用者起点・スピード感・共創】」で、令和5～令和7年度を目標期間とし取組みを推進しています。

■ 多様な主体との連携により、各テーマごとに取組みを推進

「公民学連携プラットフォーム」や「大阪スマートシティパートナーズフォーラム」など多様な主体との連携を推進基盤として、10のテーマごとに取組みを推進しています。

まちのデジタル活用

まちの様々な分野においてデジタルを活用し、地域課題の解決や新たな価値創造につながるまちづくりを推進

教育・子育て

健康・医療

防災・防犯

交通

多様性

まちの魅力

サービスのデジタル活用

デジタルを活用し、市民にとって利便性・快適性の高いサービス提供を推進

最適化

パーソナライズ

行政のデジタル活用

デジタルやデータの利活用により、効果的な施策展開やワークスタイルの改革・生産性の向上を推進

データ利活用

業務改革

推進基盤（多様な主体と連携）

豊中市

データ連携

データ基盤

体制連携

公民学連携プラットフォーム

大阪府

大阪広域データ連携基盤【ORDEN】

大阪スマートシティパートナーズフォーラム

とよなかデジタル・ガバメント戦略2.0（取組み状況）

戦略の取組み状況について

■2023(令和5)年度の実施状況

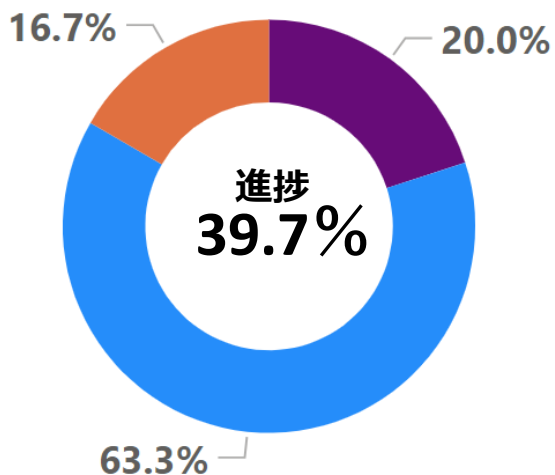
戦略に掲げた目標の実施状況を調査し、次頁以降に取りまとめました。

戦略1年目のため調査・調整、次年度予算化など準備段階も多いですが、概ね順調に推移しています。

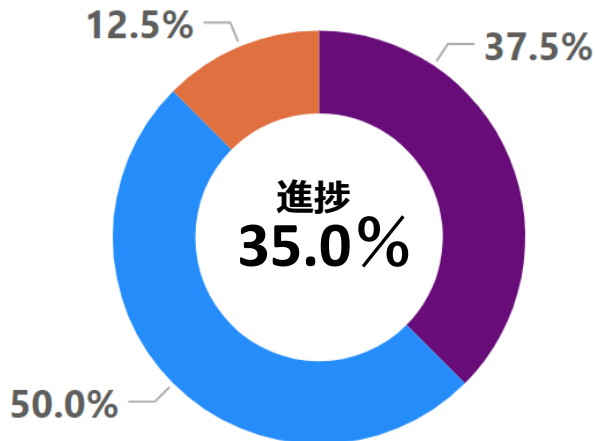
進捗：38.3%



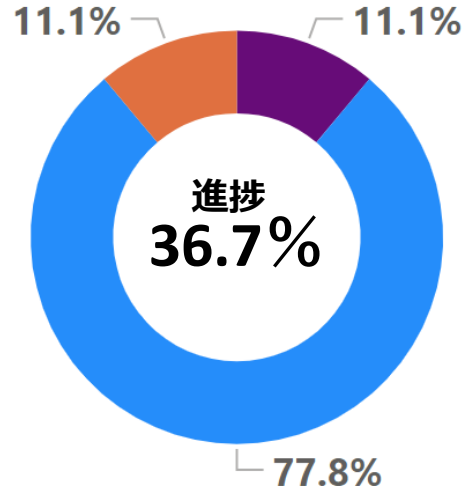
まちのデジタル活用



サービスのデジタル活用



行政のデジタル活用



■ 検討中 ■ 進行中 ■ 完了

とよなかデジタル・ガバメント戦略2.0（取組み状況）

まちのデジタル活用

取り組み内容	達成 目標時期	状況	詳細	2023年度（令和5年度）実績
●学習環境の充実	教育・子育て			
	R7	進行中	○デジタル教科書拡大、次世代タブレット端末導入	●デジタル教科書に加え、AIドリルのデジタル教材を14校に試験導入 ●次期タブレット端末のアプリケーションサービスを検討
	R7	進行中	○書籍貸出サービスの拡充	●電子書籍の充実 電子雑誌：198タイトル、電子書籍：13,982点 ●阪急豊中駅舎内に予約資料の受け取り、返却が可能なサービスポイントの整備完了（令和6年2月）
	R7	検討中	○放課後学習支援のデジタル活用	●AIドリルの活用に向けた検討
●子育て環境の充実	教育・子育て			
	R7	進行中	○教育・子育てサポートナビの導入	●地域課題解決支援事業における実証実験・協議
	R7	進行中	○一時保育等予約システムの導入	●情報収集および予算化を実施
	R5	完了	○送迎用バスの置き去り防止へのデジタル活用	●置き去り防止装置の設置完了
●地域包括ケアへのデジタル活用	教育・子育て		健康・医療	
	R7	進行中	○総合システム導入・運用	●令和7年2月稼働開始を目指し整備中
●介護・健康分野へのデジタル活用	健康・医療			
	R6	検討中	○観察・経過記録のデジタル化	●保健所への導入に向けた調査（RFI）の実施（令和5年8月） メモ 標準化に伴う事業者のリソース不足の懸念
	R6	進行中	○要介護認定調査のデジタル化	●調査票作成、提出のデジタル化の整備（令和6年3月）
	R7	進行中	○国保・健診等の保健情報、医療・薬事情報の利活用の推進	●肺がん検診、乳がん検診、子宮がん検診、胃がん検診、大腸がん検診、肝炎ウイルス検査、骨粗鬆症健診、歯周病疾患検診の受診情報をPHRに掲載

とよなかデジタル・ガバメント戦略2.0（取組み状況）

まちのデジタル活用

取組み内容	達成 目標時期	状況	詳細	2023年度（令和5年度）実績
●介護・健康分野へのデジタル活用		健康・医療		
	R7	進行中	○認知症予防・介護予防へのデジタル活用	●各種介護予防事業利用者の間診情報と体力測定データを一元化し集積し長期的な維持改善状況を分析
●防災分野へのデジタル活用		防災・防犯		
	R5	完了	○マイタイムライン作成支援ツールの導入	●マイタイムライン作成支援ツールの導入完了（令和5年9月） アクセス数：1,298件、作成数：476件
	R7	進行中	○被災者台帳の電子化	●新被災者支援システム導入（令和5年8月）
●地域通貨(ポイント)の充実		まちの魅力		
	R6	進行中	○市独自ポイントの連携・集約	●とよなか地域ささえ愛ポイントの一部及びエコポイント「とよか」を集約
	R5	完了	○民間振興券が発行する地域振興券等との連携	●民間事業者によるイベント等での利用 実施事業者数：6者、イベント数：7件 ●民間事業者が発行する地域振興券の一部に利用
●デジタル・デバインド対策		多様性		
	R7	進行中	○地域ITリーダーの活動拠点の拡大	●千里、庄内、蛍池でスマホ相談会、教室、講習会を実施 相談会：195日、参加者：1,345人
	R7	進行中	○相談窓口などの拠点拡大	●福祉なんでも相談窓口など10箇所で開催
	R7	進行中	○デジタル/スマホ相談会・教室の継続的な実施	●デジタル/スマホ相談会・教室を実施 相談会：85回、参加者：602人
	R5	進行中	○オンライン通訳対応の実現	●市民課窓口にて通訳アプリを搭載したタブレットを3台導入 引き続き導入増を検討 ●引き続き他の窓口への導入を検討 メモ タブレット端末の調達不調による導入延期
	R5	完了	○オンライン相談窓口の導入	●オンライン相談窓口を開設し、子育て部門の手続きや相談、税部門の相談を実施（令和5年10月） 実績：241件（6か月間）

とよなかデジタル・ガバメント戦略2.0（取組み状況）

取組み内容	達成 目標時期	状況	詳細	2023年度（令和5年度）実績	
●先進技術等の活用	防災・防犯		交通	まちの魅力	健康・医療
	R7	検討中	○自動運転の実証	●実証に向けた調整の実施 メモ 費用・実現性の課題があり、改めて構想を検討中	
	R7	完了	○グリーンスローモビリティの導入	●新千里北町及び新千里東町にてグリーンスローモビリティの導入（令和5年10月） 利用者数：265人（約6か月間）	
	R6	進行中	○ドローンの活用	●「豊中市災害対応ドローン隊」発隊。災害対応を想定した操縦訓練実施（令和5年12月）	
	R7	進行中	○OAI/VR技術などを活用した魅力発信・サービスの導入	●メタバース空間とリアル空間の連動イベントを開催（令和6年3月） ・ARを活用したフォトスポットの設置 ・市の魅力スポットのVR動画体験ブースの設置 ●VRゴーグルを用いた、認知症の人の世界を体験するイベントを開催（16回、212人） ●生成AIの業務利用に関する実証実験を実施（令和5年度2回実施）	
	R7	検討中	○3D土地・建物など情報の活用	●高低差など移動困難度の計測方法を検討 ●豊中駅周辺における3D都市モデル整備・活用事業検討	
	R7	進行中	○メタバース空間の活用	●豊中市独自のメタバース空間を一般公開（令和6年3月）	
	R5	検討中	○市立診療所などのオンライン診療の実施	●市立診療所へ来所が難しい子どもに対するオンライン診療実施（1箇所） ●市立病院にて対象患者に対するオンラインによる診療に係る機器の検討	
	R7	進行中	○福祉・介護現場などでのロボット活用	●障害福祉現場の業務効率化及び職員の負担軽減のため、ICT導入にかかる経費を補助（補助対象：15事業者） ●障害者支援施設に見守り支援機器の導入を補助（補助対象：1事業者）	
●マイポータルサイト（一人ひとりの専用サイト）	最適化		最適化		
	R7	検討中	○マイポータルサイトの構築	●マイポータルサイト構築のため情報収集。国の動向等により見直し メモ マイナポータルを活用	
	R7	進行中	○マイポータルサイトを通じたプッシュ型サービスの実現	●プッシュ型通知の手法の検討、予算化を実施	

まちのデジタル活用

とよなかデジタル・ガバメント戦略2.0（取組み状況）

サービスのデジタル活用

取組み内容	達成 目標時期	状況	詳細	2023年度（令和5年度）実績
●窓口・オンライン手続きの質向上				
			最適化	最適化
	R7	検討中	○書かないワンストップ窓口の充実	●窓口DXSaaSの導入に向けて検討、先進自治体の視察を実施（視察実施：2自治体）
	R5	完了	○チャットボットによる手続きなど案内の実現	●市ホームページへチャットボットの導入（令和5年12月）
	R7	進行中	○手続きなど案内サービスの連携・充実強化	●手続きガイドへの導線改善（利用件数：13,731件） ●LINEから電子申込への導線改善（利用件数：30,704件）
	R7	検討中	○ライフイベントごとの手続きワンストップの実現	●おくやみ窓口の実現に向けて検討、先進自治体の視察を実施（視察実施：2自治体）
●サービス周知・広報・連携				
			最適化	
	R6	進行中	○ホームページリニューアル	●令和6年度のリニューアル実施に向けた構想の検討、予算化
	R7	進行中	○公式ソーシャルメディアの周知	●転入時の配付物に市公式LINE周知チラシを同封 ●市公式LINEでイベント開催（LINEの友達数：66,243人）
	R7	進行中	○各種カード等との一体化・デジタル化	●マイナポータルにおけるプッシュ型通知の検討 ●PMHにおける医療証とマイナンバーカードの一体化に関する検討 ●運転免許証、国家資格の一体化に関する情報収集
	R7	検討中	○地域通貨との連携などサービスの展開	●公的個人認証の利用の必要性を検討
●既存サービスの見直し・拡充				
	-	-	○各種サービスの見直し・拡充の実施	●デジタルサービスに関するポータルサイトの公開（令和5年10月） ●ひとり親支援手続きガイド追加、およびひとり親支援に関するオンライン相談開始（令和6年3月） ●保育所等の新規入所申込手続きの完全オンライン化（令和6年2月） ●献立表の電子化および、オープンデータの公開 ●避難所受付システムの実証実験を実施（令和5年10月） ●認知症高齢者・障害者等行方不明捜索システム（オレンジセーフティネット）の導入（令和5年11月）

とよなかデジタル・ガバメント戦略2.0（取組み状況）

取り組み内容	達成 目標時期	状況	詳細	2023年度（令和5年度）実績
●データ利活用環境の構築				
データ利活用				
	R6	進行中	○データ基盤の整備	●共有データベースを構築し、各種データの収集（82件）
	R6	完了	○データ分析（BI）ツールの利活用	●データ分析ツール（PowerBI）の導入、利活用のためのワークショップ開催（令和5年8月～3月、32件）
	R7	検討中	○データ連携基盤の導入	●データ連携基盤の導入に向けた情報収集
	R7	進行中	○データに基づく施策の分析や展開	●匿名化した子ども・教育に関するデータやアンケート調査データを結合し、データを分析 ●人口レポートの公開（令和6年2月） ●税データ分析結果を税収向上に結び付く施策立案につなげる取組みを実施
●デジタル推進基盤の構築				
業務改革				
	R7	進行中	○統合端末の導入（端末などの最適化）	●統合端末の展開開始（900台）
	R7	進行中	○ゼロトラストセキュリティの導入	●デジタル基盤の導入
	R7	進行中	○仮想化基盤やクラウド環境の利用	●旧住民情報系仮想化基盤から新仮想化基盤への移行完了
	R7	進行中	○20業務の標準化	●移行経費の予算化を実施 ●標準化移行計画の作成
	R7	進行中	○クラウド環境・仮想化基盤への移行	●外部データセンタでの新仮想化基盤の拡張検討、契約
●既存業務サービスの見直し・拡充				
	-	-	○各種業務サービスの見直し・拡充の実施	●永年文書及び公印を押印する文書について電子決裁を開始 ●財政関連、契約関連、会計関連の電子決裁を開始
	-	-	○職員のリテラシー向上・セキュリティ対策	●専門人材の採用（令和5年10月） データ利活用のためのワークショップを実施 ●全職員を対象に情報セキュリティ研修を実施

参 考 資 料

(デジタル・ガバメント戦略2.0 抜粋)

とよなかデジタル・ガバメント戦略2.0（課題と方向性）

取組み内容

実感・共感を伴うデジタル・ガバメント2.0の推進
K G I：デジタルサービスに対する満足度向上

まちのデジタル活用

- 学習環境の充実 (P.10)
- 子育て環境の充実 (P.10)
- 地域包括ケアへのデジタル活用 (P.11)
- 介護・健康分野へのデジタル活用 (P.11)
- 防災分野へのデジタル活用 (P.12)
- デジタル・デバイド*対策 (P.13)
- 先進技術等の活用 (P.14)

サービスのデジタル活用

- マイポータルサイト構築
（プッシュ型） (P.16)
- 窓口・オンライン手続きの質向上 (P.16)
- サービス周知・広報・連携 (P.17)

行政のデジタル活用

- データ利活用環境の構築 (P.19)
- デジタル推進基盤の構築 (P.20)

とよなかデジタル・ガバメント戦略2.0（3つの取組みの柱）

まちのデジタル活用

学習環境の充実

■いつでも学ぶことができる学習環境を

デジタル教科書の拡大や学習アプリなどタブレット端末の利活用拡大、書籍貸出サービスや公民館講座の動画配信の拡大、放課後学習支援などデジタル学習環境を充実・強化します。

<主な取組み>

- デジタル教科書拡大、次世代タブレット端末導入
- 書籍貸出サービスの拡充
- 放課後学習支援のデジタル活用

教育・子育て

子育て環境の充実

■安心して子育てができる環境の充実を

教育や子育てに関する支援・サービスを使いやすくするための仕組みの構築や送迎用バスの置き去り防止のための安全装置の設置など、安心して子育てができる環境や子どもの安全を守る取り組みを充実・強化します。

<主な取組み>

- 教育・子育てサポートナビの導入
- 一時保育等予約システムの導入
- 送迎用バスの置き去り防止へのデジタル活用

教育・子育て

とよなかデジタル・ガバメント戦略2.0（3つの取組みの柱）

まちのデジタル活用

地域包括ケアへのデジタル活用

■情報共有の強化により、切れ目のない支援を

課題を抱える市民を課題や年齢等にかかわらず様々な支援機関や資源、手法を活用し、確実に支援をするため、必要なデータを集約し各種支援に活用できる地域包括ケアに係る総合システムを導入します。

<主な取組み>

- 総合システム導入・運用

教育・子育て

健康・医療

介護・健康分野へのデジタル活用

■健康データの効果的な活用により健康増進を

市民自ら保健（乳幼児健診や成人健診等の結果）、医療や薬剤等情報へアクセスし、健康維持増進に活用することや医療機関との共有、観察・経過記録等のデジタル化、要介護認定調査のデジタル化、認知症予防や介護予防などの介護・健康分野におけるデジタル活用を推進します。

<主な取組み>

- 国保・健診等の保健情報、医療・薬剤情報の利活用の推進
- 観察・経過記録のデジタル化
- 要介護認定調査のデジタル化
- 認知症予防・介護予防へのデジタル活用

健康・医療

とよなかデジタル・ガバメント戦略2.0（3つの取組みの柱）

まちのデジタル活用

防 災 分 野 へ の デ ジ タ ル 活 用

■より迅速な災害対応を

被災者台帳のデジタル化やマイタイムライン作成支援ツールの導入など防災分野におけるデジタル活用を推進します。

<主な取組み>

- マイタイムライン作成支援ツールの導入
- 被災者台帳の電子化

防災・防犯

地 域 通 貨 （ ポ イ ン ト ） の 充 実

■コミュニティや産業のさらなる活性化へ

マチカネポイントを基盤に市独自のポイントなどと連携することにより、各種施策の充実、市民・事業者の市政参画を進めるとともに、市内消費の促進による地域経済の活性化に繋がります。

<主な取組み>

- 市独自ポイントの連携・集約
- 民間事業者が発行する地域振興券等との連携

まちの魅力

とよなかデジタル・ガバメント戦略2.0（3つの取組みの柱）

まちのデジタル活用

デ ジ タ ル ・ デ バ イ ド^{*} 対 策

■誰ひとり取り残されない環境を

「地域ITリーダーの活動拠点」の拡充、公民館や図書館、地域の公共施設などでの様々な担い手による「デジタル教室や相談会の実施」により、誰もがデジタルの恩恵を受けることができるよう支援します。

<主な取組み>

- 地域ITリーダーの活動拠点の拡大
- 相談窓口などの拠点拡大
- デジタル/スマホ相談会・教室の継続的な実施

オンライン技術を活用した「外国語などの通訳」や、公共施設での「オンライン相談窓口」の導入など、年齢や性別・国籍・場所などにかかわらずデジタルサービスの便益を享受できるようにします。

<主な取組み>

- オンライン通訳対応の実現
- オンライン相談窓口の導入

多様性

とよなかデジタル・ガバメント戦略2.0（3つの取組みの柱）

まちのデジタル活用

先進技術等の活用

■移動を快適に・暮らしを安心に

自動運転やMaaS、空飛ぶ車などスマートモビリティの導入、ドローンを活用した災害対応、インフラの点検などより快適で安心できるまちの機能を実装します。

<主な取組み>

- 自動運転の実証
- グリーンスローモビリティの導入
- ドローンの活用

■AI/VRなどの導入 ～ 仮想空間の活用により、さらに魅力あるまちへ

AIやVR技術を活用したサービスや、チャットボットの導入による業務Q&Aの24時間応答環境の整備、3D土地・建物情報、メタバースなどの先進技術を活用します。

<主な取組み>

- AI/VR技術などを活用した魅力発信・サービスの導入
- 3D土地・建物など情報の活用
- メタバース空間の活用

防災・防犯

交通

まちの魅力

とよなかデジタル・ガバメント戦略2.0（3つの取組みの柱）

まちのデジタル活用

先進技術等の活用

■オンライン診療 ～ すぐ近くに安心の医療を

自宅などにいながら診療が可能なるよう病院情報システムの基盤強化に沿ったオンライン診療機器を整備するなど、デジタルを活用し、より安心できる医療を提供します。

<主な取組み>

- 市立診療所などのオンライン診療の実施

■ロボットの導入 ～ 労働負担の軽減を

労働負荷軽減環境整備に向け、福祉・介護分野におけるロボットなどのデジタル技術活用を推進します。

<主な取組み>

- 福祉・介護現場などでのロボット活用

健康・医療

とよなかデジタル・ガバメント戦略2.0（3つの取組みの柱）

サービスのデジタル活用

マイポータルサイト（一人ひとりの専用サイト）

■いつでも、どこからでも、必要な情報にアクセス

様々なサービスを簡単にいつでもどこからでも利用でき、必要な情報を得ることができる、一人一人の市民と行政をつなぐ窓口となる「マイポータルサイト」を構築し、登録情報などに応じて必要な情報を「プッシュ型」でお届けする仕組みを導入します（大阪広域データ連携基盤などと連携）。

<主な取組み>

- マイポータルサイトの構築
- マイポータルサイトを通じたプッシュ型サービスの実現

最適化

パーソナライズ

窓口・オンライン手続きの質向上

■書かない窓口や、オンラインで ～ 手続きをより便利に使い易く

引越しやおくやみ、子育てなどのライフイベントごとに必要な手続きを、マイポータルサイトや「チャットボット」、「手続きなど案内サービス」の連携・充実強化により、一括で手続きなどを案内・完結できる「手続きワンストップ」に加え、手書きする申込書をなくす「書かない窓口」を実現・充実します。

<主な取組み>

- 書かないワンストップ窓口の充実
- チャットボットによる手続きなど案内の実現
- 手続きなど案内サービスの連携・充実強化
- ライフイベントごとの手続きワンストップの実現

最適化

パーソナライズ

とよなかデジタル・ガバメント戦略2.0（3つの取組みの柱）

サービスのデジタル活用

サービス周知・広報・連携

■周知・広報の充実 ～ もっとわかりやすい情報発信に

誰もがサービスを使い易いように、ホームページなどでのわかりやすい導線の確保や、適切な媒体による情報発信を行い、サービスを知らない人へのアプローチなど、周知・広報を充実させ、利用を促進します。

<主な取組み>

- ホームページリニューアル
- ホームページにチャットボット導入（再掲）
- 市公式ソーシャルメディアの周知

■マイナンバーカードとの連携 ～ マイナンバーカードをもっと活用、もっと便利に

各種カードや地域通貨などサービスとの連携や、マイナンバーカードの認証基盤である「公的個人認証を活用したサービスを展開」し、マイナンバーカード利活用を促進します。

<主な取組み>

- 各種カード等との一体化・デジタル化
- 地域通貨との連携などサービスの展開

最適化

とよなかデジタル・ガバメント戦略2.0（3つの取組みの柱）

サービスのデジタル活用

既存サービスの見直し・拡充

■各種デジタルサービスの更なるブラッシュアップを

これまで導入を行った各種デジタルサービスについて、利用者起点でチェックを行い、さらなる利便性の向上を図ります。

<主な取組み>

○各種サービスの見直し・拡充の実施

- ・会議や打合わせ、相談などのオンライン化
- ・オープンデータの推進
- ・災害などの情報収集におけるデジタル推進
- ・窓口での電子決済の拡充
- ・デジタル学習環境に応じた指導体制確立
- ・学習者主体の授業を推進、学力向上
- ・児童生徒と家庭との連携体制強化

- ・対面・オンラインのハイブリッド型の対応
- ・標準データセットの公開継続、対象拡大
- ・大阪府防災情報システムO-DISの運用
- ・対象手続きの拡大
- ・GIGAスクール運営支援センター、ICT支援員運用
- ・デジタル教科書、学習アプリの導入（再掲）
- ・連絡システム（コドモン）の運用

とよなかデジタル・ガバメント戦略2.0（3つの取組みの柱）

行政のデジタル活用

データ利活用環境の構築

■データ基盤の構築 ～ データ利活用をより効率的に

市が保有する様々なデータを安全かつ効率的に収集・蓄積でき、簡易かつ効果的にデータを利活用できる「データ基盤」を構築し、「データ分析(BI)ツール・機能」を実装します。

<主な取組み>

- データ基盤の整備
- データ分析（BI）ツールの利活用

■マイナポータル・ORDEN等との連携 ～ データ利活用の広がりを

国のマイナポータルや府のデータ連携基盤ORDEN、民間事業者のポータルサイトやビッグデータなどとの連携により、データ利活用を推進・拡大します。

<主な取組み>

- データ連携基盤の導入

■EBPMによるサービスなどの展開 ～ データ利活用で施策展開へ

蓄積したデータや分析データを利活用した施策展開やサービスの導入（EBPM）を行います。

<主な取組み>

- データに基づく施策の分析や展開

データ利活用

とよなかデジタル・ガバメント戦略2.0（3つの取組みの柱）

行政のデジタル活用

デジタル推進基盤の構築

■**デジタル基盤構築** ～ セキュリティと利便性を両立させた新たな業務基盤で業務効率化を
各ネットワークを分離するいわゆる「3層の対策」を維持しつつ、複数の業務用端末の統合など
業務環境の最適化を進めます。また、効率性・利便性向上とセキュリティ向上を両立するため、
ゼロトラストセキュリティなどの新たなセキュリティ手法の導入や豊中版ISMSの取組みにより
セキュリティ対策に万全を期します。

<主な取組み>

- 統合端末の導入（端末などの最適化）
- ゼロトラストセキュリティの導入
- 仮想化基盤やクラウド環境の利用

■**システムの標準化** ～ 基幹システムの標準化による業務の最適化を

住民基本台帳や税、保険などの基幹20業務を国が示す標準仕様に準拠したシステムに更改し、クラウド環境に移行することで、業務の最適化を推進します。また、標準化対象外のシステムについても、仮想化基盤やクラウド環境への移行を推進します。

児童手当、住民基本台帳、選挙人名簿管理、固定資産税、個人住民税、法人住民税、軽自動車税、就学、国民健康保険、国民年金、障害者福祉、後期高齢者医療、介護保険、生活保護、健康管理、児童扶養手当、子ども・子育て支援、戸籍、戸籍附票、印鑑登録

<主な取組み>

- 20業務システムの標準化
- クラウド環境・仮想化基盤への移行

業務改革

とよなかデジタル・ガバメント戦略2.0（3つの取組みの柱）

行政のデジタル活用

既存業務サービスの見直し・拡充

■各種業務・市民サービスのさらなる改善

これまで導入を行った各種業務アプリ・システムについて、業務フローの見直しも含めチェックを行い、さらなる業務効率化や生産性の向上をつうじた市民サービスの充実を推進します。

<主な取組み>

○各種業務サービスの見直し・拡充の実施

- ・ AI
- ・ RPA
- ・ 文書管理・電子決裁
- ・ 電子契約
- ・ 見積書・請求書などの押印廃止
- ・ ペーパーレス、web会議の促進
- ・ テレワーク環境の整備
- ・ システムの内製化

- ・ チャットボット導入、AI議事録の運用継続
- ・ AI-OCR、RPAの運用継続及び随時適用
- ・ 電子決裁の拡大・定着
- ・ 対象業務拡大
- ・ 押印廃止、オンライン化の検討
- ・ 対面・オンラインのハイブリッド型の対応
- ・ 新たなテレワークシステムの導入及び運用
- ・ 新たな内製化システムの導入及び利用拡大

○職員のリテラシー向上・セキュリティ対策

- ・ デジタル・ガバメント2.0の推進に必要な「デジタル人材」を育成
- ・ 全ての職員への研修を実施し、デジタルリテラシーの底上げを推進

国などへの規制緩和の働きかけ

■積極的に規制緩和を働きかけ

サービスのデジタル活用を進めるなかで、市民の利便性を最大限に高めるために、転入届やマイナンバーカードの発行など対面を前提としているサービスなどの規制緩和を、積極的に国や府へ働きかけます。